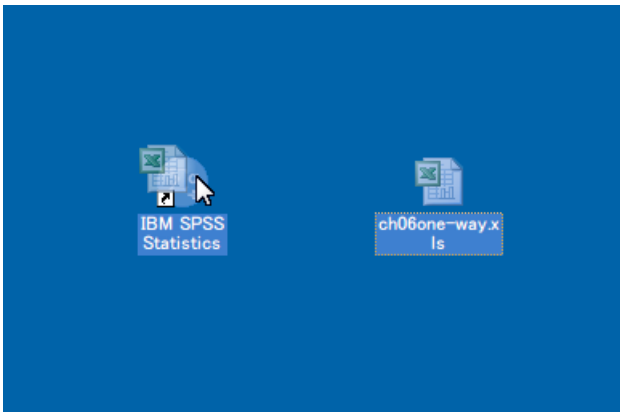


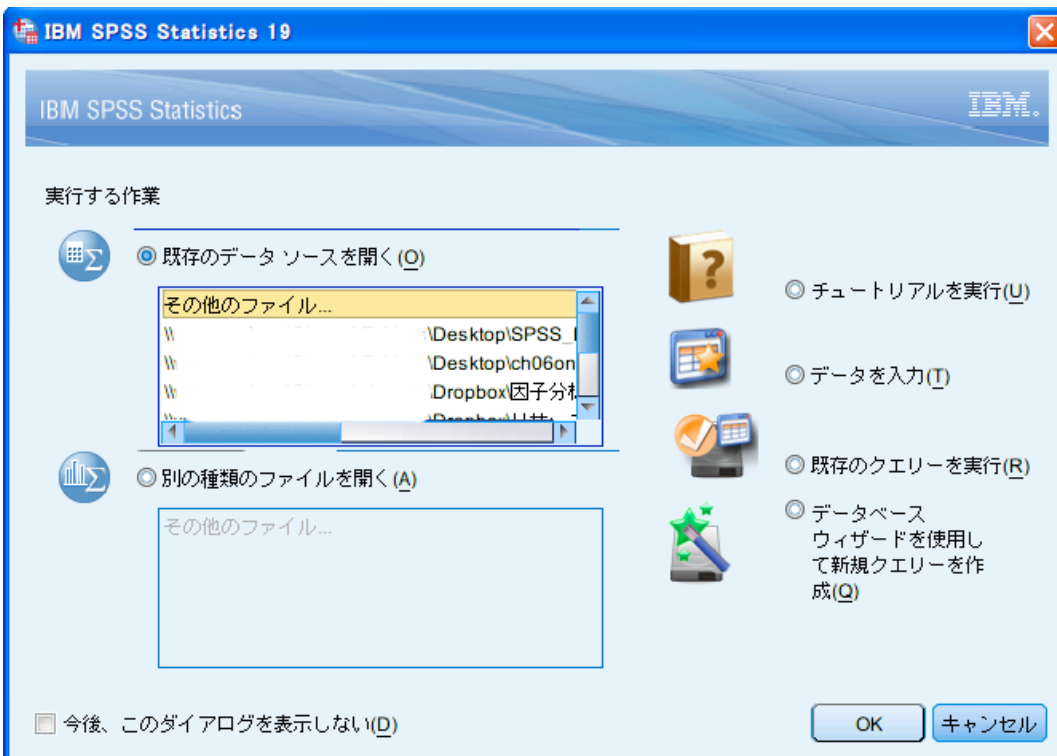
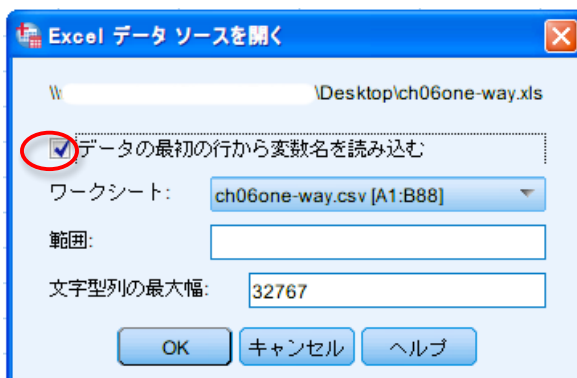
SPSS での xls, cvs ファイルの読み込み方法



xls または xlsx 形式のファイルの場合、SPSS Statistics のアイコン上にドラッグすることで読み込み可能です。

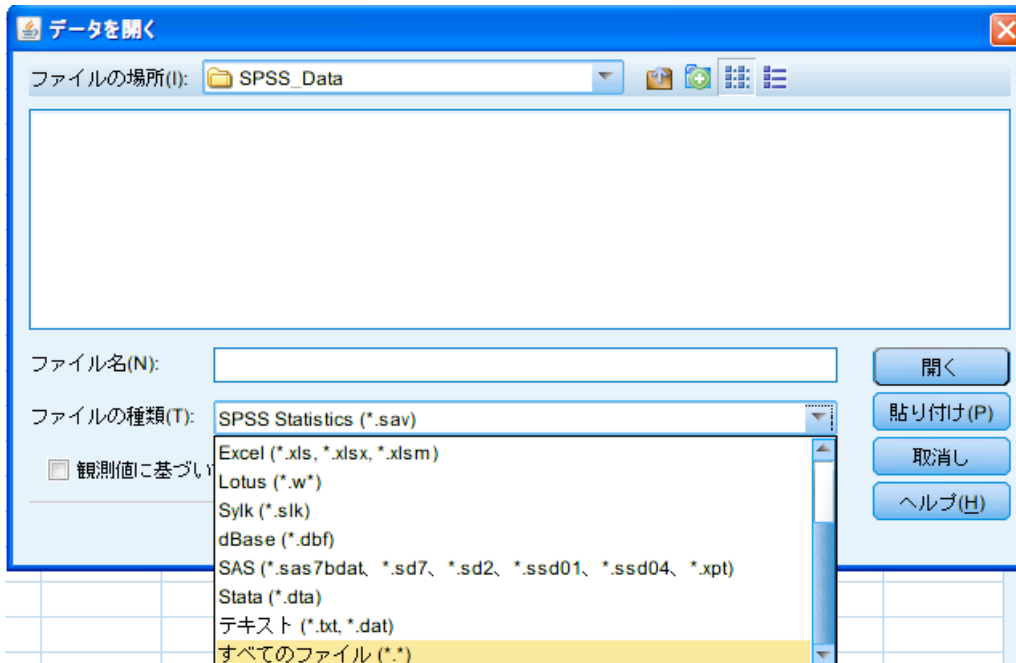
その後、「Excel データソースを開く」というダイアログ (←) が表示されますので、「データの最初の行から変数名を読み込む」にチェックが入っていることを確認して OK をクリックします。

または、SPSS Statistics を起動後に表示されるダイアログ (↓) から「その他のファイル」をクリックし、当該の xls(x) ファイルを選択することも可能です。



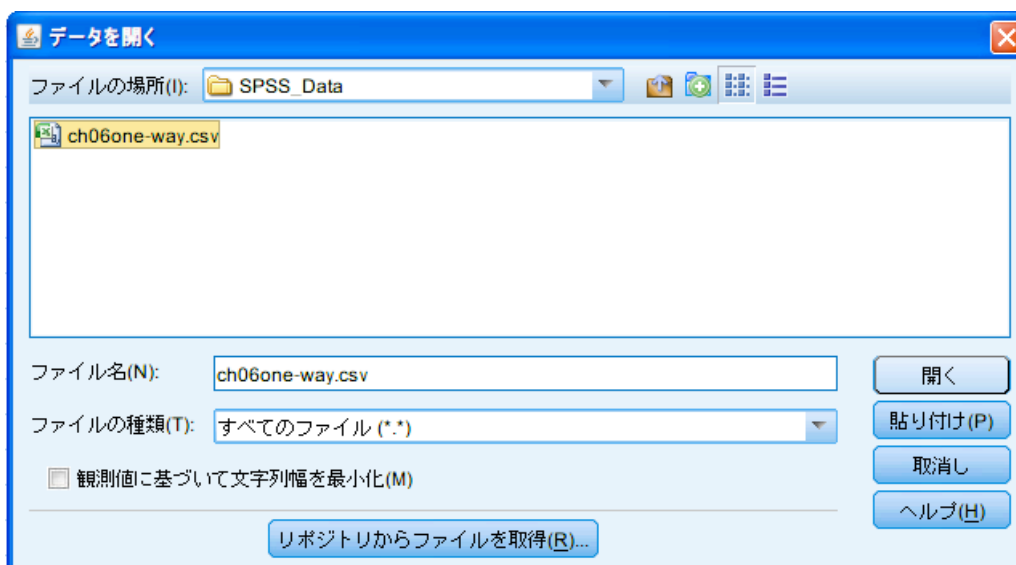
csv ファイルの場合は、エクセルで一度開いた後、xls か xlsx 形式を選択して、保存し直した上で、前ページの方法で読み込むことができます。

csv 形式のまま読み込みたい場合には、以下の方法になります。



csv 形式は SPSS アイコンへのドラッグ&ドロップには対応していませんので、SPSS Statistics を起動後に表示されるダイアログから「その他のファイル」をクリックし、当該の csv ファイルがあるフォルダを選択します。

「ファイルの種類」から「すべてのファイル」を選択します。そうすると、csv ファイルが選択可能になりますので、選んだ上で OK をクリックします。



「テキスト インポート ウィザード」が表示されますので、基本的にそのまま「次へ」をクリックして進めてください。

ただし、ステップ 2/6 の「ファイルの先頭に変数名を含んでいますか？」という質問のみ「はい」を選択してください。

テキスト インポート ウィザード (ステップ 2/6)

元データの形式

自由書式(D) 変数が記号や特殊文字 (カンマ、タブなど) で区切られている場合。

固定書式(F) 変数は固定幅列に合っています。

ファイルの先頭に変数名を含んでいますか?

はい(Y)

いいえ(O)

テキスト ファイル: \\vmware-host\Shared Folders\Desktop\SPSS_Data\ch06one-way.csv

	0	10	50	60	70	80
1	1,78					
2	1,54					
3	1,62					
4	1,46					
5	1,53					
6	1,64					
7	1,42					

< 戻る(B) 次へ >(N) 完了 キャンセル ヘルプ

最後にステップ 6/6 で完了をクリックします。

テキスト インポート ウィザード (ステップ 6/6)

テキスト ファイルの形式の定義が終了しました。

あとで使用できるようにこのファイル形式を保存しますか?

はい(Y) いいえ(O) 保存(S)...

シンタックスを貼り付けま

はい(E) いいえ(N) ローカルにデータをキャッシュ(C)

[完了] ボタンを押して、テキスト インポート ウィザードを終了してください。

データ プレビュー

Class	Score
1	76
1	54
1	62
1	46
1	53
1	64
1	42
1	66

< 戻る(B) 次へ >(N) 完了 キャンセル ヘルプ